

## 伝わり、動かす コミュニケーションデザイン

企業や社会の本質的な価値や課題を見出して、  
伝わる形にビジュアライズ：具現化していくこと。  
そんな「届けたい想いが伝わり、行動を促す」コミュニケーションを  
お客様と共創し、世界を豊かにしていきます。



創業

1979年

アマナグループ全体の人数

646人 ※2024年1月1日現在

拠点

Tokyo, Osaka,  
Shanghai, Singapore, Hongkong

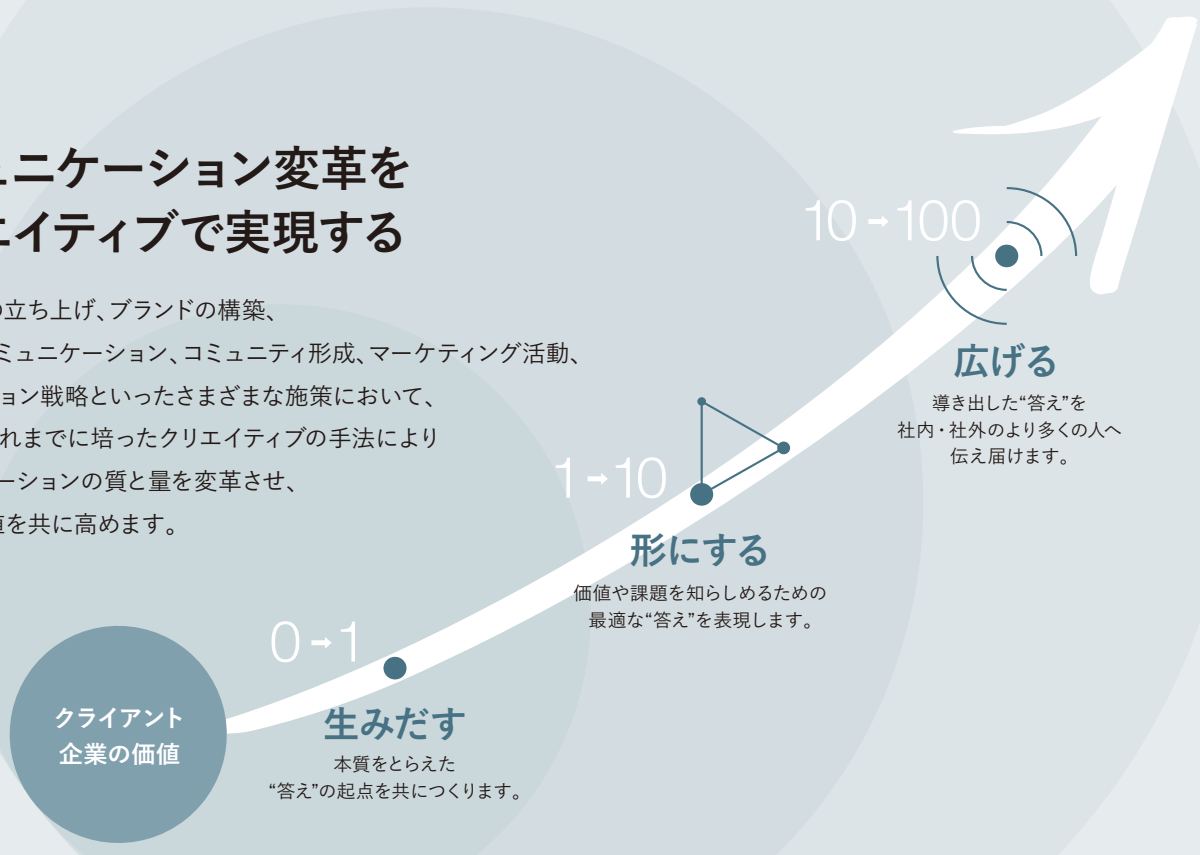
年間プロジェクト件数

約15,000件

©Ophelia/Westend61/amanaimages

# コミュニケーション変革を クリエイティブで実現する

新規事業の立ち上げ、ブランドの構築、  
インナーコミュニケーション、コミュニティ形成、マーケティング活動、  
プロモーション戦略といったさまざまな施策において、  
アマネはこれまでに培ったクリエイティブの手法により  
コミュニケーションの質と量を変革させ、  
企業の価値を共に高めます。



## 共に生み出す

企業が抱えている課題／価値の抽出から、  
コンセプトメイク、そしてプロトタイピングまで。  
本質をとらえた“答え”の起点を共につくります。

課題／価値の抽出

コンセプトメイク

ブランド戦略

プロトタイピング

トレンドリサーチ





## 共に形にする

画像(静止画、動画など)やシステム構築、  
企画デザインなどのアウトプットについて、  
価値や課題を知らしめるための  
最適な“答え”を表現します。

写真/ムービー

CGクリエイティブ

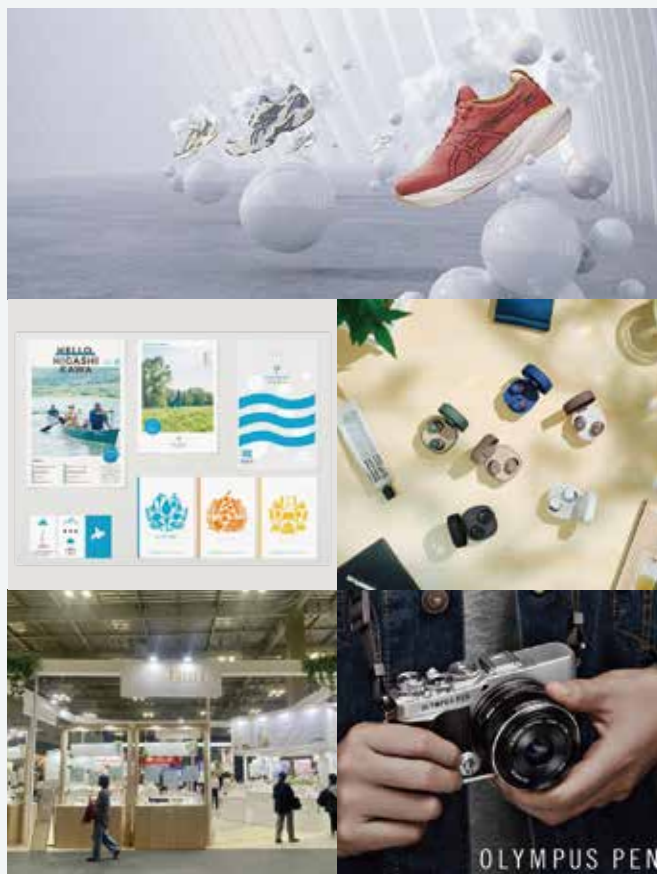
UI/UXデザイン

グラフィックデザイン

編集/ライティング

空間デザイン

XR (VR/AR/MR)



## 共に広げる

表現するだけでなく、  
その価値を最大化するための仕組みや戦略、  
導き出した“答え”を社内・社外のより多くの人へ伝え届けます。

マガジン / メディア

デジタルアド

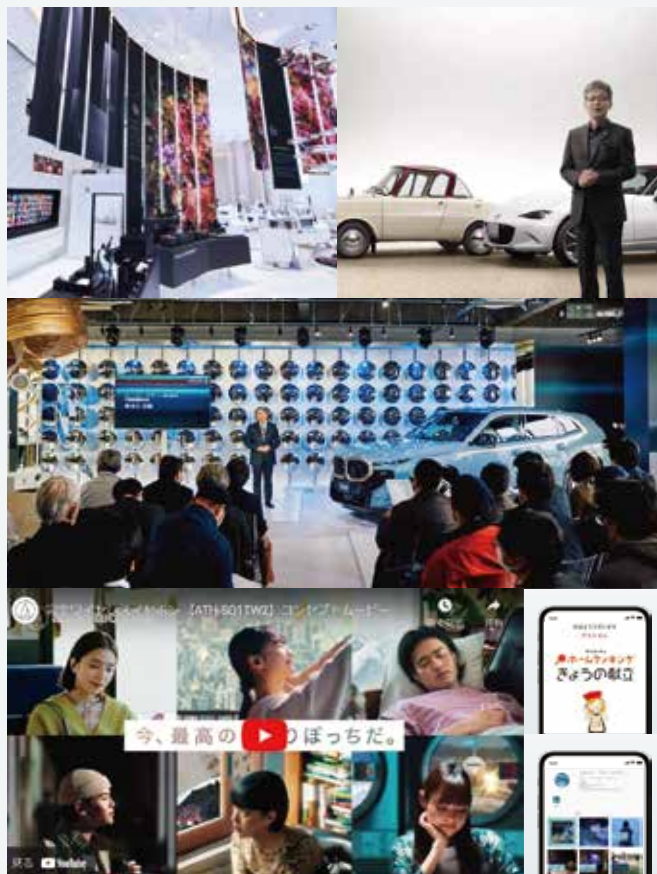
SNS プロモーション

コンテンツマーケティング

バーチャルスタジオライブ

イベント設計

インナーブランディング

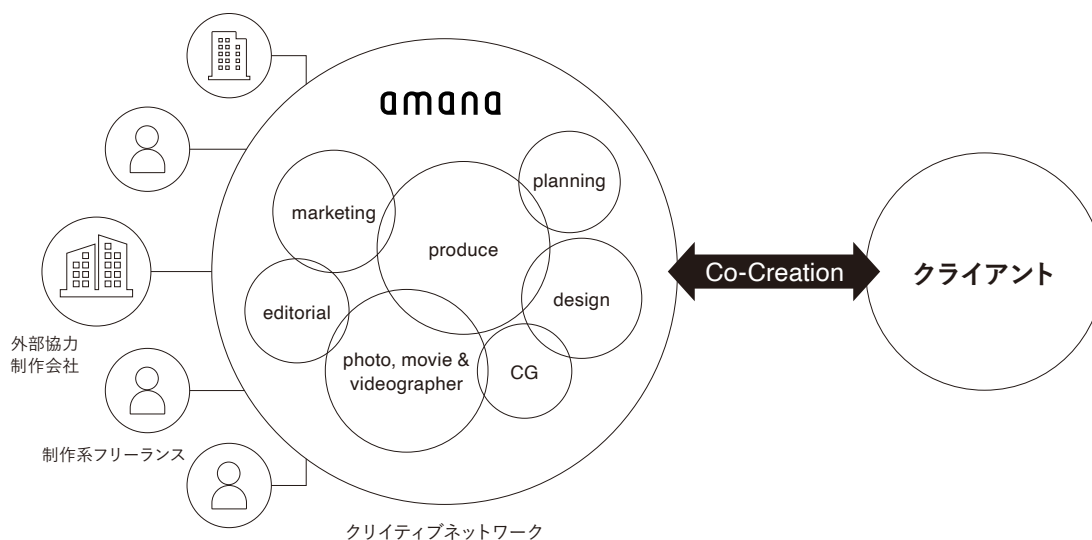


## 企業のコミュニケーション施策や DX 推進をサポートする アマナのクリエイティブとソリューション

企業が抱える課題や価値の抽出を行い、コンセプトと企画を構築してからアウトプットにいたるまでを、ワンストップで提供・プロデュースします。その際に、スチールや動画（TVCM、WEB 動画など）、撮影、CG（3DCG、アパレル CG など）といったビジュアル制作をはじめとする豊富なクリエイティブ資源や、年間 15,000 件に及ぶ事例のナレッジを活用。さらに、アマナが独自に開発したさまざまな商材（ソリューション）を組み合わせることで、企業のコミュニケーション施策や DX（デジタルトランスフォーメーション）推進をサポートします。



©Aliyev Alexei Sergeevich/Cultura/Image Source RF /amanaimages

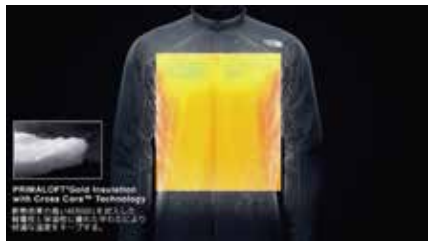


## クリエイティブソリューション

あらゆるアウトプットをつくり出す

### コンテンツ制作

スチールやムービーの撮影はもちろん、企画デザイン、WEBサイト制作などのデジタル施策、展示やイベント、プリンティングなどのリアル施策など、アマナにはさまざまな表現力が備わっています。それらを駆使してあらゆるアウトプットの形をつくり出し、ビジュアルコミュニケーションを活性化させます。



#### CG クリエイション (2DCG/3DCG)

多数在籍するCGクリエイターの技術で、現物がなくてもリアルなビジュアル

制作が可能。リアルな現場での撮影が不要になり、CADデータを使うことでさらにワークフローを効率化できます。これまでCG表現が難しいとされてきたアパレルCGなど、表現の幅もますます広がっています。



TV・CM 動画



スチール撮影



展示・イベント



WEB サイト構築



企画デザイン



プリンティング

静止画、動画などのストックやライセンスまで

### ストックフォト

広告や出版物、テレビ番組、WEBサイトなどさまざまなメディアで利用できる静止画や動画などの素材を販売しています。また、素材を安心・安全に活用していただくための権利確認と使用許可代行も行い、クリエイティブワークをしっかりサポート。



## コミュニケーション施策& DXソリューション

ナレッジ共有とインナーコミュニケーションを促進

### XBOARD™

組織や働き方の変容により、企業におけるインナーコミュニケーションはますます重視される傾向にあります。amana XBOARD (アマナクロスボード)は、社員間のコミュニケーションやナレッジ共有の基盤となるプラットフォーム。人を軸にしたコンテンツづくりでインナーコミュニケーションを活性化し、社内リソースを強化して競争力につなげます。エンプロイヤーエンゲージメントを高め、社員のモチベーションアップにも貢献します。



バーチャル・ライブ・ビジュアルソリューション

### deep LIVE™



視覚的デザイン、そして、ブランドや製品をより魅力的に訴求する企業のオンラインコミュニケーションに最適なソリューション。「バーチャルでは、表現したことが伝わらない」。そんな思いを最先端テクノロジーを駆使したビジュアライゼーションで解決します。



## コミュニケーション施策& DXソリューション

クラウド管理できるセキュアな  
ビジュアルコンテンツ管理

### shelf



保有されている大量の静止画、動画を簡単に共有でき、社内外問わずメンバーで有効活用することができます。直感的に操作できるUI設計、カスタマイズできる各種設定など、コンテンツを安全に共有するための様々な機能をご用意しております。



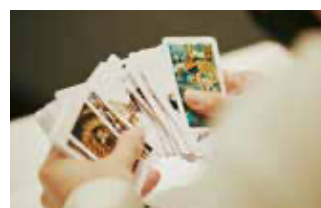
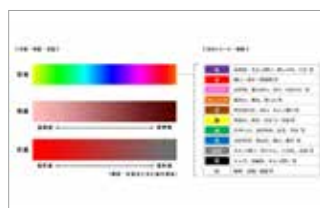
企業の競争力を高める  
クリエイティブ人材育成プログラム

### amana Creative Camp



変動性が高く複雑な時代において企業に必要なのが、積極的に新しい情報をインプットし、柔軟性をもって高い決断力と行動力を発揮する“クリエイティブ人材”です。

amana Creative Campでは、企業の課題に即しながら自立性・創造性を高めるプログラムを実施。ブランド価値を伝える力を磨くデザインキャンプや、顧客に響くストーリーの描き方を学ぶエディトリアルキャンプなど、多様なプログラムを提供し、人材育成を通して企業の競争力向上に貢献します。



Show Case

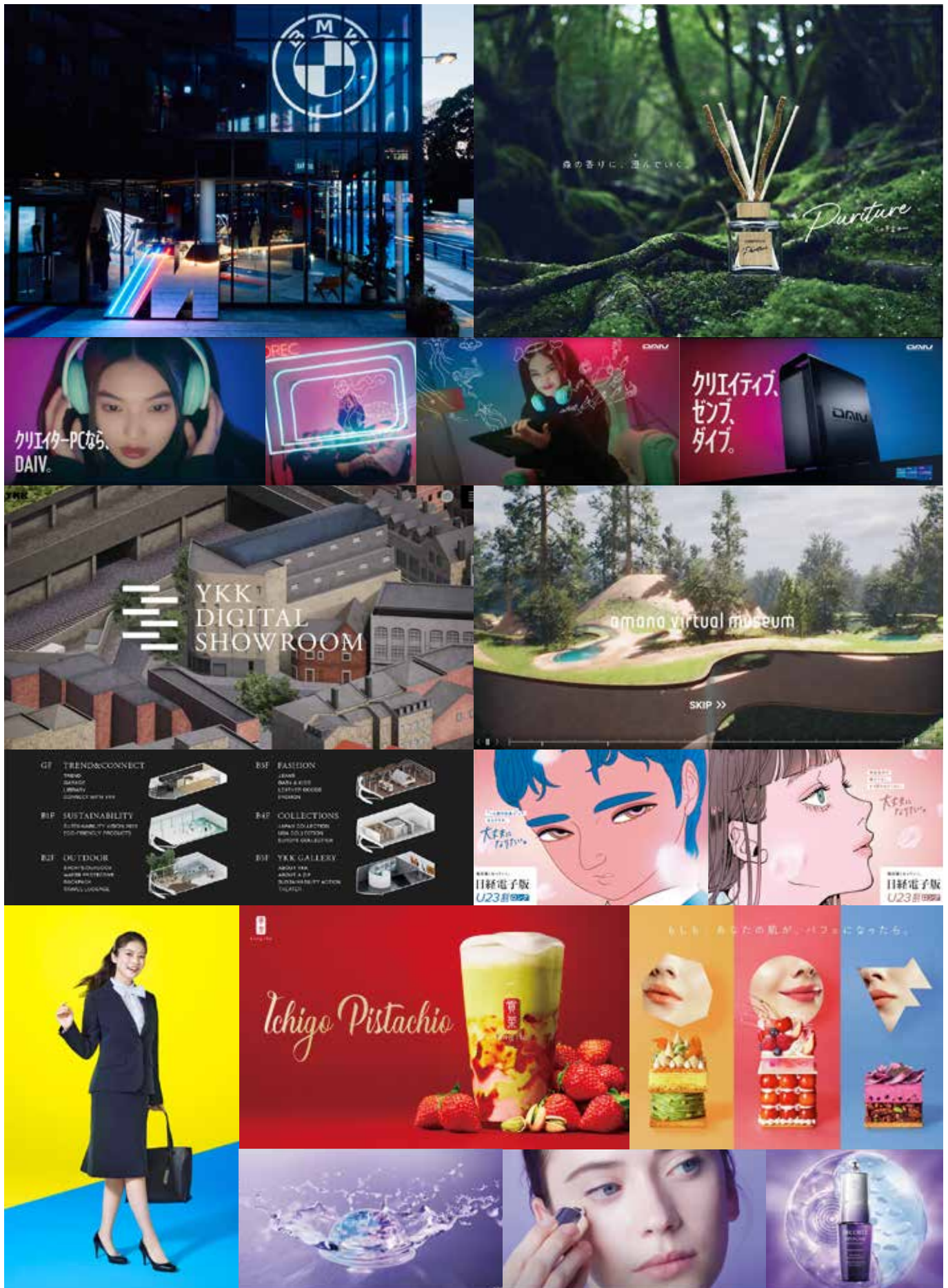




Show Case



Show Case



## 世界にノイズと美意識を

暮らし方や働き方、価値観など、世界は大きく変化しています。  
そして、私たちも次なる飛躍のために、大きな変化と向き合っています。  
この変わり続ける時代において、私たちは  
「世界にノイズと美意識を」という理念を掲げています。

刺激や気づきを与え問題提起を促す「ノイズ」と、  
期待を超えて問題解決を行う「美意識」。  
この2つの感性を大切に、お客様や社会のパートナーとして、  
新しい価値を世界に創造していきます。



ビーブルマーク：「人が中心」のコンセプトを表すシンボルマークです。  
アマナグループの多彩で多様な人々をイメージしてビジュアル化されました。

---

## company profile

社名:	株式会社アマナ		
役員:	代表取締役社長	金子 剛章	
	取締役	瀬川 貴文	松島 陽介
	非常勤監査役	長谷部 智也	
本社所在地:	東京都品川区東品川2-2-43 03-3740-4011 (代表)		
事業内容:	ビジュアル&コミュニケーション事業 コミュニケーション領域における戦略・企画立案、ブランドデザイン&アクティベーション、インナーコミュニケーション、コンテンツマーケティング、コンテンツ制作・編集、プロトタイピング、ムービー/グラフィック制作、WEB制作、その他各種プロモーション施策の立案など		
資本金:	100百万円		
創立:	1979年4月28日		
グループ会社:	株式会社アマナフォトグラフィ 株式会社ニーズプラス 株式会社料理通信社 amanacliq Asia Limited amanacliq Shanghai Limited amanacliq Singapore Pte. Ltd.		
従業員数:	(連結)646名 ※2024年1月1日現在		
主要取引銀行:	りそな銀行、商工組合中央金庫、三井住友銀行、みずほ銀行、横浜銀行、千葉銀行 ※2024年1月1日現在		
ホームページ:	<a href="https://amana.jp/">https://amana.jp/</a>		

## company history

1979	4月	実質上の存続会社アーバンパブリシティ(株)創業(ビジュアルコンテンツの企画制作事業開始)
1987	1月	ストックフォトの企画販売事業開始
1991	4月	アーバンパブリシティ(株)から(株)イマに商号変更
1997	11月	(株)カメラ東京サービス(形式上の存続会社)と合併(商号を(株)アマナに変更)
2001	4月	撮影部門強化のため、(株)アン設立
2004	7月	(株)東京証券取引所マザーズ市場に株式を上場(7月1日付)
	10月	共同出資により(株)ニーズプラス設立
2005	3月	撮影部門を独立させ、(株)アキューブ、(株)スプーン、(株)ディップ、(株)ヒュー、(株)ボォワル設立
	12月	ソリューションアイテム拡充のため、(株)ナブラの株式取得(子会社化)
2006	1月	企画・デザイン力強化のため、(株)エイ・アンド・エイの株式取得(子会社化)
	8月	企画・デザイン力強化のため、(株)ミサイル・カンパニーの株式取得(子会社化)
2007	1月	ストックフォト事業部門の企画販売事業を再編し、(株)アマナイメージズに集約(子会社化)
		TV-CM事業領域拡大のため、(株)ハイスクールの株式取得(子会社化)
2008	7月	(株)アマナからビジュアルコンテンツの企画制作事業を担う(株)アマナを新設分割、 持株会社制に移行(株)アマナの商号を(株)アマナホールディングスに変更)
	11月	情報セキュリティマネジメントシステムの国際規格「ISO/IEC27001:2005」の認証取得(11月24日付)
	12月	(株)ミサイル・カンパニーの株式譲渡(持分法適用関連会社)
2009	1月	(株)アマナから企画制作事業の一部を担う(株)アマナインタラクティブを新設分割
	10月	ビジュアルコンテンツの企画制作事業の一部を担う(株)アマナシージーアイを新設分割
	12月	(株)アマナインタラクティブを存続会社として(株)ハイスクールを吸収合併 事業区分を「広告ビジュアル制作事業」と「ストックフォト販売事業」に変更
2010	4月	広告ビジュアル制作事業の一部を担う(株)ハイドロイドを新設分割
	12月	広告の企画制作を担う(株)ワンダラクティブ設立
2011	10月	広告の企画制作事業拡大のため、(株)料理通信社の株式取得(子会社化)
2012	1月	プラチナプリントを主とした事業拡大のため、Salt Ulbeek社との合併会社(株)アマナサルト設立
	7月	広告ビジュアル制作事業の再編により(株)ナブラの商号を(株)ライジンに変更
	9月	amanacliq Asia Limited設立
	10月	アジア市場における営業拠点としてamanacliq Asia Limitedの子会社amanacliq Shanghai Limited設立
	12月	(株)ウエストビレッジ コミュニケーション・アーツの株式取得
2013	1月	(株)アマナの制作関連事業をアマナインタラクティブへ吸収分割(株)アマナインタラクティブの営業関連事業をアマナへ吸収分割 (株)アマナインタラクティブを(株)アマナクリエイティブに商号変更
	4月	タカ・イシイギャラリーとの合併会社、(株)アマナティーアイジー設立(持分法適用関連会社)
	7月	アジア市場における営業拠点としてamanacliq Asia Limitedの子会社amanacliq Singapore Pte. Ltd.設立
2014	1月	企画デザインを行う(株)アマナデザイン設立(株)アマナクリエイティブを(株)スタジオアマナに商号変更
	3月	(株)アマナエエヌジー設立(持分法適用関連会社)
	4月	グループ内の営業体制の強化と戦略的・機動的な経営資源の活用を目的として(株)アマナホールディングスを存続会社として (株)アマナを吸収合併(株)アマナホールディングスを(株)アマナに商号変更 ビジュアル制作体制の合理化を目的に(株)スプーンを存続会社として(株)ヴィーダを吸収合併、(株)パレードに商号変更
	7月	ジャン・健太 ゴーチエ氏との共同出資により (株)アマナジェイケージー設立(持分法適用関連会社)
2015	4月	人材育成、企業研修の企画・運営を手がける(株)アマナビ設立
	10月	YK Luxembourg S.a r.l.とカルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)との3社共同出資による合併会社 (株)イエローコーナージャパン設立(持分法適用関連会社)
2017	1月	(株)スタジオアマナを存続会社として(株)パレードを吸収合併、(株)アマナフォトグラフィへ商号変更 (株)ライジンを存続会社として(株)アマナシージーアイ、(株)ハイドロイドを吸収合併、(株)アマナデジタルイメージングに商号変更
2018	7月	(株)アマナデザインが(株)サイバーエージェントとの合併会社 (株)Ca Design設立(持分法適用関連会社)
2019	2月	(株)XICOの株式取得(持分法適用関連会社)
		(株)プレミアムジャパンの株式取得(持分法適用関連会社)
	12月	(株)アマナデザインを存続会社として(株)アマナビ、(株)ウエストビレッジ コミュニケーション・アーツ吸収合併
2020	7月	(株)アマナを存続会社として(株)アマナデザインを吸収合併
	9月	アマナドローンスクールを(株)GEOソリューションズに事業譲渡
	10月	アートフォト販売拡大に向けての迅速な意思決定を目的にCCCアートラボ(株)が保有する(株)イエローコーナージャパンの株式を 取得し、(株)イエローコーナージャパンを連結対象子会社化
	11月	(株)アマナを存続会社として(株)アマナサルト、(株)アマナデザインスタジオ、(株)アマナデジタルイメージング、(株)ワンダラクティブを吸収合併 (株)アマナフォトグラフィを存続会社として(株)アキューブ、(株)ヒューを吸収合併
2021	2月	(株)アンの株式を譲渡(持分法適用関連会社化)
2022	5月	(株)アマナイメージズの全株式を(株) Numazawa, Iizuka, and Nagai for Kimberleyへ譲渡
	12月	(株)プレミアムジャパンの株式を(株)ルッソへ譲渡
2023	3月	(株)Ca Design解散
	6月	(株)イエローコーナージャパンの株式を(株)フラットラボへ譲渡(株)XICOの株式を(株)アートレイトへ譲渡
	9月	(株)アマナティーアイジーの全株式を有限会社タカ・イシイギャラリーへ譲渡
	12月	(株)アマナフォトグラフィの一部を構成しているスタジオ及び機材のレンタル事業を株式会社PORTに譲渡
		第三者割当増資の実施により(株)Infinity brand capital が(株)アマナの親会社となる
2024年	1月	(株)東京証券取引所グロース市場において普通株式が上場廃止